

事後評価報告書

令和6年2月8日(木)

研究種別	県単(一般分)	
研究課題名	魚食性鳥類対策の効率化	
研究期間	令和2年度 ~ 令和5年度	
	評価項目	評価点
1	研究目標の達成度	4.0
[評価所見]		
<p>サギやカワウの魚食被害対策について、継続的に新たな知見が得られており、特にカワウについては追払いと誘導による適切なコロニーの管理方法が確立しつつある。今後、管理コロニーが移動した場合でも、繁殖抑制をつなげていくための道筋が見えており、県内におけるカワウ繁殖抑制対策はほぼ完成しつつあると言える。</p> <p>大きな漁業被害をもたらす魚食性鳥類に対する対策は県の水産業において必要不可欠である。サギ類の侵入抑制およびカワウの繁殖抑制等、有効な成果があげられている。</p> <p>養殖場におけるサギ類侵入に対し、黒色防鳥糸とタイムラプスカメラを用いた対策の有効性を証明するとともに、天然水面において水産被害をもたらすカワウ対策として、繁殖抑制の効率化や光によるコロニー除去方法についても有効な成果があげられている。</p>		